

取扱説明書及び部品表

Takakita

ゲートアタッチ

DL9010-WG

DL9010-WG	
適用機種	DL9010
	DL11010



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ユアツゲート アタッチメント**の組付け方法及び取扱方法と、使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ販売店または当社にご注文ください。
(部品コードは裏表紙に記載してあります。)
- 本書は**注意**として知っておくと得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。



警告サイン



印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



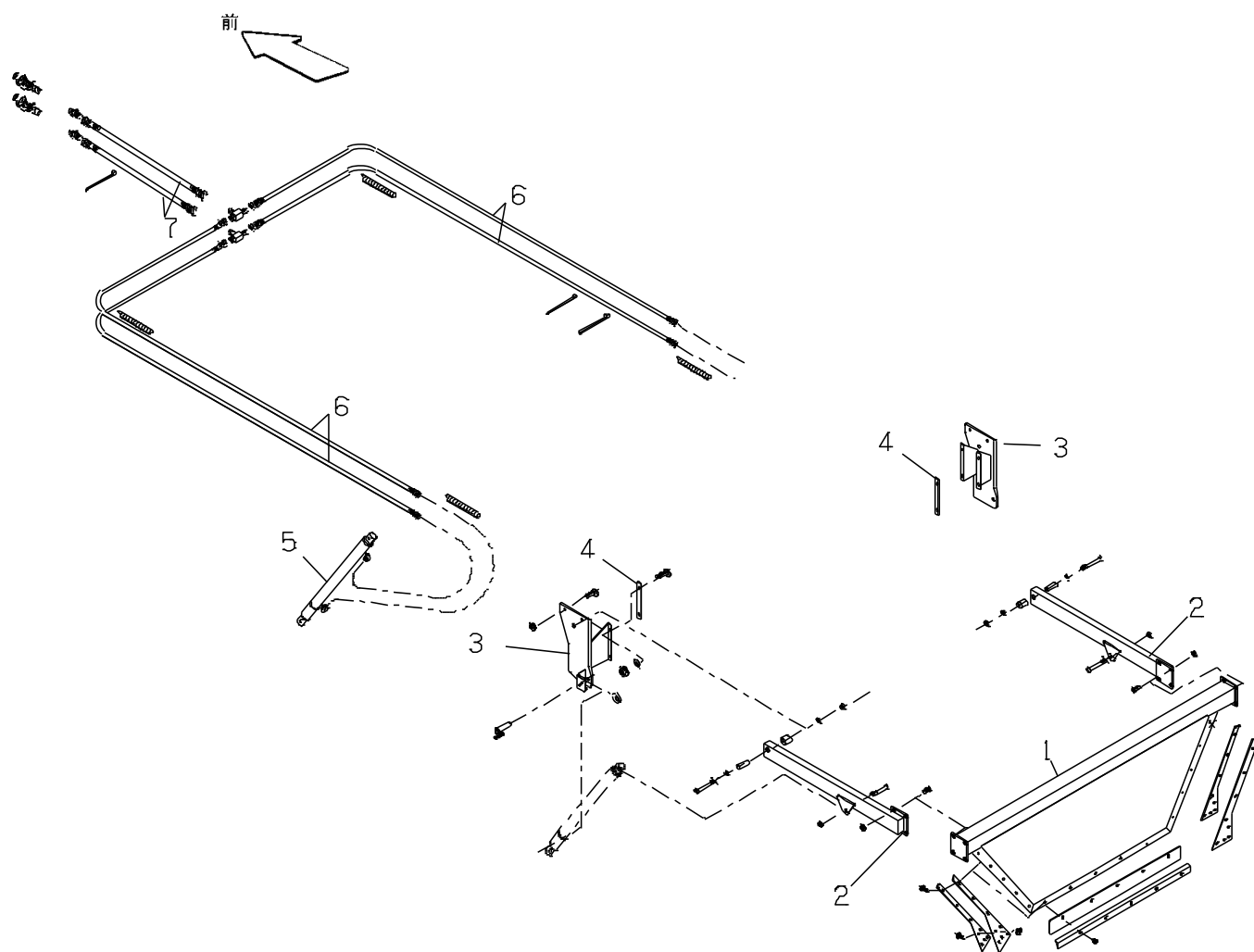
注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

各部の名称	1
マニアスプレッダへの組付け要領	2
1. ゲートホнтаイの組付け	2
2. 油圧シリンダの組付け	2
3. 油圧ホースの組付け.....	3
作業方法	4
1. 散布方法	4
2. スラリー(ヘドロ)状、堆肥の散布	4
部品内容	5
付 表	6
1. 主要諸元	6

各部の名称

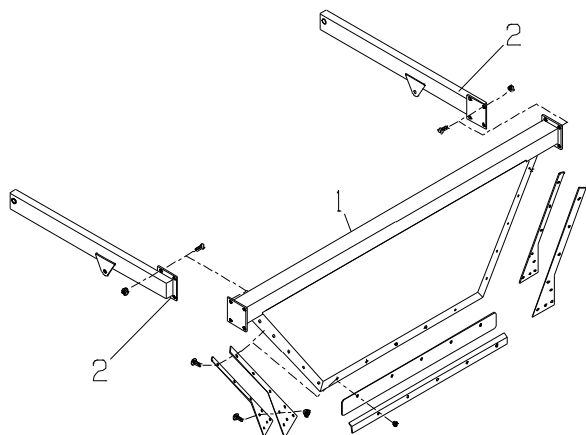


番号	名 称	DL9010-WG
1	ゲートホンタイ	
2	ゲートアームR・L	
3	ゲートブラケットR・L	
4	スペーサ	
5	シリンダ	
6	油圧ホース	6500mm
7	油圧ホース	3300mm

マニアスプレッダへの組付け要領

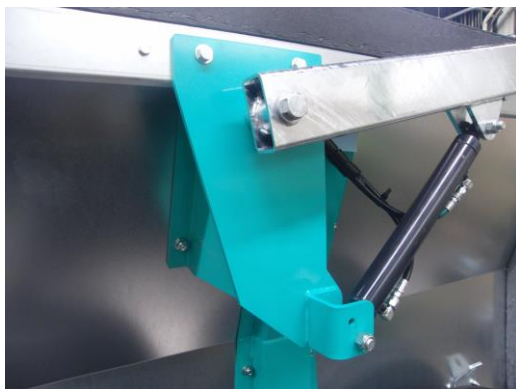
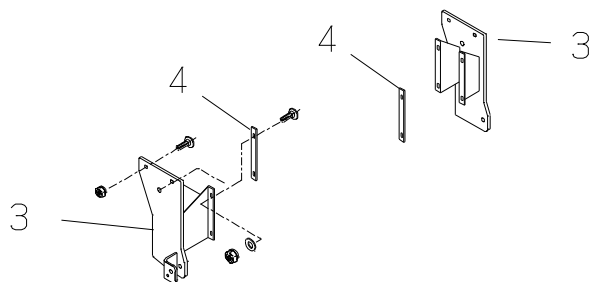
1. ゲートホントイの組付け

- ① 1. ゲートホントイに 2. ゲートアーム、ゴムイタ、ゴムオサエイタを組付けます。



- ② 本機に 3. ゲートブラケットを組付けます。

4. スペーサは、ゲートブラケットをタンデムポストに片側乗せた際の高さ合わせに使用します。

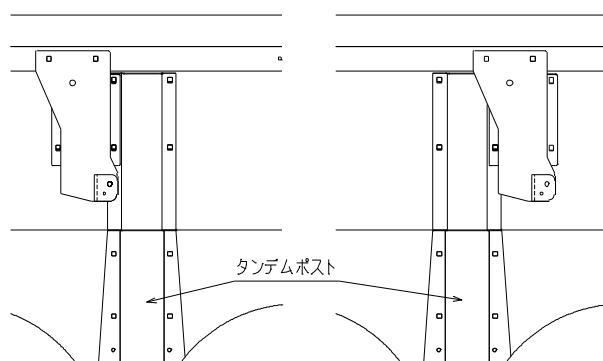


DL9010はタンデムポストの前側へ
DL11010はタンデムポストの後側へ
ゲートブラケットを組付けてください。

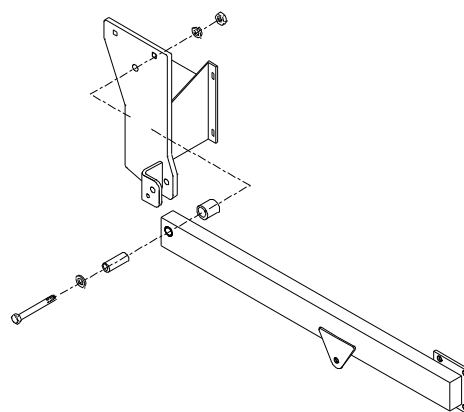
タンデムポストのボルト2本は一旦外し、
ゲートブラケットを共締めしてください。

DL9010

DL11010



- ③ マニア本体にゲートを乗せ、ゲートアームとゲートブラケットを組付けます。

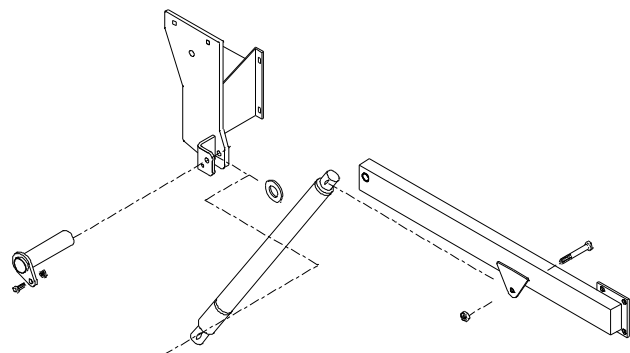


2. 油圧シリンダの組付け

ゲートブラケットと、ゲートアーム中央に
油圧シリンダを組付けする。



マニアスプレッダへの組付け要領



- ①油圧シリンダの下端（チューブ側）をゲートブラケットにピンで固定する。
- ②シリンダの上端（ロッド側）をゲートアーム中央にボルト（M16 x 80 8T半ネジ）とナイロンナット（M16）で固定します。但しボルトは内側より外に向かって入れて下さい。又ボルトが軽く回転できる様、ネジの締め加減で調整する。

3. 油圧ホースの組付け

油圧シリンダを組立後、前側（トラクタ側）から油圧ホースを接続します。

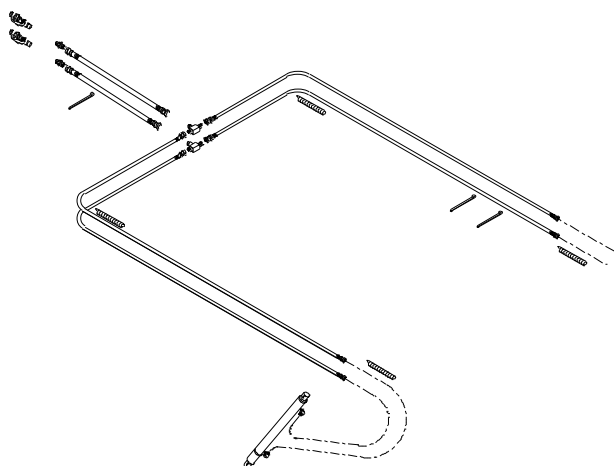
①前油圧ホース

1/4 x 3300 2本

②左右油圧ホース

1/4 x 6500 4本

③上記の油圧ホースを下図のとおり配管します。



- ④コーナ部分と油圧シリンダの接続部はスパイラルチューブを巻き両端をビニールテープで固定する。

- ⑤油圧ホースがたるまないように、リピータイで固定してください。

注意

油圧ホースの上下（シリンダの取付位置）を間違え無い様印等を付けて配管して下さい。

継手のテーパネジ部には、シールテープなどの継手材を使用してください。平行ネジには必要ありません。

作業方法

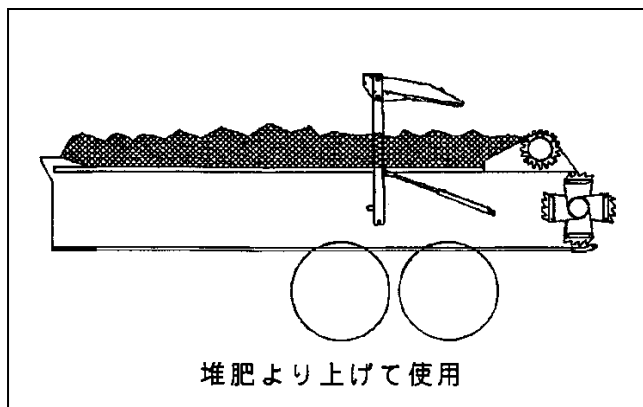
1. 散布方法

トラクタ速度とコンベア速度が決まったら散布ほ場へ移動し、散布作業を下記の手順で始めます。

- ① エンジン回転速度を下げてから、PTOを入れる。
(高速回転でPTOを入れると、シェアボルトが切損します。)
- ② トラクタの油圧レバーを操作し、油圧ゲートを上げる。PTO回転速度を上げる。コンベアを動かし、堆肥がピータまで送られて堆肥が飛散したら、走行散布してください。

注意

- 通常の堆肥散布を行うときは、ゲートの下端は堆肥の上面より少し上げて使用してください。
 - ゲートを使用して堆肥を平らにならすことは絶対しないでください。
- ※ 本機が破損します。



注意

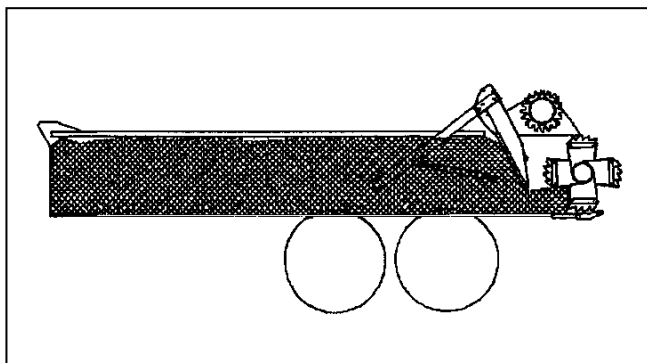
作業後は緩衝材、ゲートおよびシリンダ等に堆肥が堆積している場合は、掃除して取除いてください。そのままにしておくと、堆肥が固まりゲートが正常に作動しなくなる恐れがあります。

2. スラリー（ヘドロ）状堆肥の散布

スラリー（ヘドロ）状の堆肥を散布するときは、PTOを入れてピータを回転し、油圧ゲートをゆっくり上げてゲートの上げ高さで散布量を調整してください。コンベア速度は1～3程度とします。

ただし、硬い堆肥が入っているときは、油圧ゲートが曲がる場合があります。ヘドロ堆肥で流動的な場合のみ、この散布を行ってください。

散布精度は通常の堆肥より悪くなります。



部品内容

梱包内容	名称	部品コード	数量
単品梱包	ゲート本体ーゴム板組立済	78101-3110-000	1セット
	ゲートリフトシリンダ	78110-3310-000	2
ダンボール箱 梱包	ナイロンホース 1／4x3300L (カプラ付・チース付)	00850-1283-301	2セット
	ナイロンホース 1／4x6500L	00850-1286-501	4
	カラー	74101-3137-000	2
	カラー	74101-3138-000	2
	ボルト 20x130(半ネジ)	01114-0201-300	2
	ヒラサガネ 20(みがき丸)	02422-0000-200	2
	ハネサガネ 20	02431-0000-200	2
	U ナット M20	02331-4001-200	2
	ボルト 16x80(8T 半ネジ)	01118-0160-800	2
	ナイロンナット 16	02311-4001-160	2
	ピン 89	74101-3140-001	2
	ボルト 10x30	01114-0100-300	2
	ナイロンナット 10(サツキ)	02311-4003-100	2
	スペーサ t6x φ40x φ17	05017-0400-060	2
	ゲートブラケット R	78110-3140-000	1
	ゲートブラケット L	78110-3150-000	1
	スペーサ	78110-3181-000	4
	カクネマルアタマボルト 12x30(1 種)	01811-0120-300	4
	カクネマルアタマボルト 12x35(1 種)	01811-0120-350	8
	ヒラサガネ 12(みがき丸)	02422-0000-120	8
	スプリングナット 12	02121-4001-120	12
	ゲートリフトシリンダ	78110-3310-000	2
	O リングホース 45° コネクタ 1072-04	00871-0720-400	4
	スパイラルチューブ 29L700	78110-3341-000	4
	リポートタイ 140	11306-8831-000	10
	リポートタイ 250	60119-8237-000	30
	アタッチ銘板	00110-1300-021	1
	警告(運転中は手を…)	00130-6000-790	2
	ゲートリアツカイチュウイ	00130-4500-890	1

付表

1. 主要諸元

品 名		油圧ゲートアタッチメント	
型 式		DL9010-WG	
装 着 方 法		本機に組付け	
駆 動 方 法		トラクタ油圧複動	
適 用 機 種		DL9010	DL11010
マニ ア 取 付 後 の 法	機 全 長	6, 500 mm	7, 460 mm
	体 全 幅	2, 280 mm	2, 390 mm
	寸 全 高	2, 350 mm	2, 420 mm
	法 質 量	2, 530 kg	2, 820 kg
単 体 質 量		160 kg	

※この主要諸元は、改良のため予告なく変更することがあります。